

## 指定管理者評価シート

事業名	札幌市リサイクルプラザ運営管理	所管課(電話番号)	環境局環境事業部循環型社会推進課 (ごみ減量推進担当課 211-2928)
-----	-----------------	-----------	--

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市リサイクルプラザ (通称リサイクルプラザ宮の沢)	所在地	西区宮の沢1条1丁目 ちえりあ1F (西区二十四軒4条1丁目34-3)
開設時期	平成12年8月	延床面積	351.5㎡
目的	市民が、廃棄物の減量及び資源の有効利用(以下「廃棄物の減量等」という。)に関する知識と理解を深めることができる場所を提供することにより、その意識の啓発を図るとともに市民の廃棄物の減量等に関する自主的な活動を支援し、もって資源が循環して利用される社会の形成に寄与すること		
事業概要	不用品の有効活用に関する場の提供、ごみ減量・リサイクルに関する情報提供、ごみ減量・リサイクルに関する相談		
主要施設	ふれあいコーナー、情報コーナー、展示コーナー		
2 指定管理者			
名称	特定非営利活動法人 環境り・ふれんず		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、事業計画及び実施業務、その他付随する業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

## II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼統括業務管理計画を作成し、「責任者の配置に関する方針」に沿って、事業を遂行するための職員の雇用及び管理者を配置した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼平等利用を確保するために、リサイクルプラザにおける入館の制限及び販売行為等の許可に関する審査基準を定めた。(今年度の事例はなし。)</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、節電・資源リサイクル等の環境保全計画書を作成の上、実施した。また、当施設の事業は、ごみ減量・リサイクルがテーマであり、参加者を増やすことが環境配慮の推進につながるので、事業の紹介や情報提供を積極的に行った。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p>	第3期指定管理者の3年目として、全ての事業を計画どおりに実施することができた。特に職員研修を積極的に行い、個々のスキルアップに努めた。	A B C D 要求水準を満たしており、適切に統括管理業務が実施された。

▼統括業務管理計画に基づいた運営組織図を作成し、業務統括責任者及び職員を配置した上で、事業を遂行するための職員の雇用及び管理者の配置を行った。

▼道内外の類似施設取材見学などを積極的に行い、職員が業務に必要な情報や学習する機会を提供した。

(職員研修内容)

4月～8月：イラストレーター・フォトショップ講座(2名)

5月：ファストファッションをテーマにした映画「ザ・トゥルー・コスト」観賞、講演会(5名)

5月：コープさっぽろトドックステーション見学(1名)

6月：遺品整理士事業説明会(1名)

9月：3R・低炭素社会検定講習会(3名)

10月：容器包装簡素化展示会(4名)

10月：江別市リサイクルバンク視察(6名)

11月：3R・低炭素社会検定受検(3名)

12月：環境学習施設を考える会記念講演会・総会(2名)

1月：マスコミに取材される方法講習(1名)

1月：誰もが見やすい広報物の作り方(1名)

1月：「最終処分場を考える」講演会(1名)

3月：指定管理者制度と環境学習施設の今後(3名)

3月：3R・低炭素社会検定10周年記念講演会(1名)

#### ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼月に2回、職員の全体会議を行い、組織内の情報を共有して、各業務の見直しと改善をした。また、職員研修を積極的に行い、職員全体の能力向上に取り組んだ。

#### ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼リサイクル家具の運搬業務を委託。1年ごとに契約書を交わし、毎月、担当者による業務完了の確認を行った。

#### ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	▼4月～6月プラザ事業のふりかえりと進捗状況報告 ▼今後の事業予定報告 ▼その他：自主事業・職員研修等 ▼2017年度家具事業について
第2回	▼7月～9月プラザ事業のふりかえりと進捗状況報告 ▼今後の事業予定報告 ▼その他：自主事業・職員研修等
第3回	▼10月～12月プラザ事業のふりかえりと進捗状況 ▼今後の事業予定報告 ▼その他：自主事業・職員研修等
第4回	▼1月～3月プラザ事業のふりかえりと進捗状況 ▼28年度事業について振り返り ▼29年度事業の計画について

<協議会メンバー>

循環型社会推進課(ごみ減量推進担当課)

:課長・係長・担当者(計3名)

環境り・ふれんず:代表理事2名・理事2名(計4名)

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理は、リサイクルプラザ事務所と本部事務所にて会計担当者が会計ソフト「NPO会計」を活用し行い、担当理事が会計管理を行った。また、当会の監事(2名)及び外部による監査を行い適正処理している事の確認が行われた。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼市民からの要望・苦情が寄せられた場合は、速やかに札幌市へ報告した。また、報告書を作成して、職員で共有することで、クレームの再発防止等に努めた。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼業務日誌により施設管理業務に関する日常業務の記録を行った。また、年2回の来館者アンケートと講座・教室の参加者へアンケートを行い、市民のニーズを調査して、次年度事業の計画に反映した。月次報告や特記事項などは速やかに札幌市へ提出した。</p>										
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼施設で働く職員に対し、最低賃金786円(平成28年10月)を上回る790円以上の時給を支給した。</p> <p>▼28年度は時間外労働・休日労働及び深夜業の内容を含む労働はなかった。</p> <p>▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間以内を順守した。</p> <p>▼勤務日数に応じた日数の有給休暇を全て消化させた。</p> <p>▼条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。</p> <p>▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。</p> <p>▼1年に1回定期健康診断を実施した。</p> <p>▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</p> <p>▼指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。</p> <p>▼最低賃金が上がっていることや、勤続年数・スキル・モチベーション等を考慮して、職員の昇給を実施した。</p>	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">要求水準を満たしており、適切に労働関係法令順守、雇用環境の維持向上に努めた。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	要求水準を満たしており、適切に労働関係法令順守、雇用環境の維持向上に努めた。			
A	B	C	D								
要求水準を満たしており、適切に労働関係法令順守、雇用環境の維持向上に努めた。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼事業に関係する行事参加者傷害保険に加入し、利用者の安全の確保に努めた。また、館内で利用者が負傷した時の緊急時対応マニュアルの見直しを行った。</p> <p>▼利用者の施設利用の支障にならないよう、イベント等の開催スケジュールに配慮するとともに、広報誌において実施の周知を図った。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼リサイクルプラザ宮の沢の施設・設備等の維持に関する清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理について、仕様書のとおり実施した。</p>	<p>計画どおりに実施できた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">要求水準を満たしており、適切に施設・設備等の維持管理業務が実施された。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	要求水準を満たしており、適切に施設・設備等の維持管理業務が実施された。			
A	B	C	D								
要求水準を満たしており、適切に施設・設備等の維持管理業務が実施された。											

	<p>▽ 防災</p> <p>▼年2回ちえりあ防火・防災訓練に職員1名が参加して、得たことを全職員にレクチャーした。また、資料を回覧して周知を図った。</p>										
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ ごみ減量・リサイクルに関する学習機会の提供業務</p> <p>▼前年度のモニタリングの結果を基に、各教室等の内容を市民のニーズに合わせて計画・実施した。</p> <p>▼リフォーム教室を35回実施。参加者364人(定員390人・申込み830人)</p> <p>▼エコ教室を58回実施。参加者411人(定員580人・申込み490人)</p> <p>▼出張講座を10回実施。参加者83人(定員100人・申込み92人)</p> <p>▼ごみ処理施設見学会を2回実施。参加者75人(定員80人・申込み350人)</p> <p>▼講演会を1回実施。参加者414人(定員400人・電話申込+整理券配布数600人)</p> <p>▼出前講座を10回実施。参加者507人(計画10団体)</p> <p>▽ ごみ減量・リサイクルに関する情報収集及び提供業務</p> <p>▼図書・DVDコーナーは、貸出頻度の高い本を調べ、ランキングを発表し、毎月必ず新入荷本を追加して、貸し出した。 貸出件数:図書269件、DVD6件 27年度:図書274件、DVD4件 26年度:図書194件、DVD9件</p> <p>▼通常のごみ分別展示の他、市民からの問い合わせ・要望の多かったごみをピックアップして展示した。</p> <p>▼特設展示コーナーでは、他団体と協力して展示物を提供してもらい、ごみ減量に関する情報のほか、団体や当該施設の紹介も行った。 4月(外部):ガラスびんリサイクル 5月(外部):紙パックリサイクル 6月(内部):リサイクルプラザ事業紹介 7月(外部):「捨てる前にもう一度」:なんでもリメイクサークル 8月(内部):リユース食器事業紹介 9月(外部):生ごみ堆肥で「ひみつのトマト」屋上栽培 10月(外部):フェアトレード展(これからや) 11月(外部):札幌西区PTA連合会「子ども作品コンクール展」 12月(内部):古布活用:クリスマス・お正月飾り 1月(外部):リユースプラザ・発寒工房事業紹介 2月(外部):西区環境まちづくり協議会事業紹介 3月(外部):「第1回ごみ減量ポスターコンクール」さっぽろスリムネット</p>	<p>計画どおり実施できた。定員が設定されている教室・講座の総合的な参加率は88.2%とたいへん高い水準となった。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1244 309 1300 342">A</td> <td data-bbox="1300 309 1356 342">B</td> <td data-bbox="1356 309 1412 342">C</td> <td data-bbox="1412 309 1436 342">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1244 342 1436 465">要求水準を満たしており、適切に事業の計画・実施業務が実施された。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	要求水準を満たしており、適切に事業の計画・実施業務が実施された。			
A	B	C	D								
要求水準を満たしており、適切に事業の計画・実施業務が実施された。											

▼不用品又は需要品情報の提供で「ゆずります・ゆずって下さい」コーナーを施設内の掲示板で行なった。

申込み60件(成立16件、交渉不成立22件、キャンセル11件)

▽ ごみ減量・リサイクルに関する市民の自主活動及び交流の支援業務

▼市民ボランティアスタッフ登録者46名。活動日数181日間、参加人数935名。

各教室の講師・ごみ減量相談の受付・環境イベントのサポート・情報誌の編集など、様々な事業で活動を行った。

また、勉強会や研修を行うことで、スキルアップを目指した。

▼他団体との交流事業を年間9回実施した。

①4月「エコ育広場さっぽろ2016」

エコ育広場実行委員・滝野の森クラブ等

②4月「環境に優しい生前整理講座」

一般社団法人 遺品整理士認定協会

③～⑤6・8・10月「環境に配慮した生前整理相談窓口」

一般社団法人 遺品整理士認定協会

⑥6月「フリーマーケット2016」

公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

⑦8月「ちえりあ館内スタンプラリー」

ちえりあ・教育センター・若者活動センター

⑧11月「西区子ども環境広場2016」

西区環境まちづくり協議会・公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会他

⑨3月「容器包装の簡素化を進める勉強会」

北海道容器包装の簡素化を進める連絡会

▼おもちゃ病院(年間修理件数654点)

おもちゃを修理するおもちゃドクターが16名在籍している。年間2回全体会議を行った。特に受入不可品や受付時の注意点について全員で統一を図った。日本おもちゃ病院協会に在籍しており、全国のおもちゃ病院の情報を共有し、修理に必要なパーツや、おもちゃ修理に関わる書籍を取り寄せて活動に活かしている。

▽ ごみ減量・リサイクルに関する相談業務

▼ごみ減量相談: 電話や受付カウンターでのごみ減量・分別相談を行い、それを職員で共有して相談業務の質を向上させた。

▼ふれあい相談(年間151日): 毎月1日～15日の10時～15時まで開催。生ごみ堆肥化・ごみの分別・古着古布活用・おもちゃ修理などを、市民ボランティアにより行なった。担当ボランティアスタッフに、日報に質問・要望などを記入してもらい、担当職員がコメントして内容を工夫していくようにした。また、全職員に日報を回覧して周知徹底した。

(5)施設利用に関する業務		▽ 利用件数等			計画どおり実施できた。	A	B	C	D
		H27実績	H28計画	H28実績					
年間 来館者	件数(件)								
	人数(人)	54,950		58,600					
	稼働率(%)								
リフォーム教室	件数(件)	35	30	35					
	人数(人)	370		364					
	稼働率(%)	95	80	93					
エコ教室	件数(件)	59	50	58					
	人数(人)	444		411					
	稼働率(%)	76	80	71					
出張講座	件数(件)	10	10	10					
	人数(人)	86		83					
	稼働率(%)	86	80	83					
ごみ処理 施設 見学会	件数(件)	2	2	2					
	人数(人)	57		75					
	稼働率(%)	95	80	94					
出前講座	件数(件)	11	10	10					
	人数(人)	276		507					
	稼働率(%)		80						
講演会 エコトーク 映画会	件数(件)	1	1	1					
	人数(人)	211		414					
	稼働率(%)	53	80	100					
施設内 見学	件数(件)	11		7					
	人数(人)	99		144					
	稼働率(%)								

## ▽利用促進の取組

## ▼リフォーム教室

講師となるボランティアスタッフ育成のため、適宜、レクチャーを行った。また、新人ボランティアが講師として活動できるように指導した。

## ▼エコ教室

古布活用・生ごみの減量・包丁研ぎなどを中心に開催した。モニタリング調査により、随時、教室の内容や実施方法などを工夫し、市民交流広場をはじめとしたリサイクルプラザ事業の紹介にも力を入れた。以前より市民から要望のあった「キャンセル待ち」の仕組みをつくり、キャンセルで参加者が減少しないように工夫した。

## ▼出張講座

札幌市内全区で「簡単にできる包丁研ぎ教室」を実施した。刃物を使用する教室ということで、自宅から会場間の刃物の持ち運びから作業終了まで、徹底的に注意喚起を行った結果、大きな怪我や事故が起こらなかった。

## ▼ごみ処理施設見学会

昨年好評だった夏休み期間に小学生と保護者2人1組を対象とした工場見学回数を増やして実施した。また、札幌市内の町内会や市民団体を対象とした団体枠での見学会を行い、幅広い世代に啓発活動を行えた。

## ▼講演会

古着・古布のリメイクをテーマに「エコトーク映画会」を開催した。「なんでもリメイクサークル」代表の加藤弘子氏によるトークショーと生徒達による古着リメイクのファッションショー及び映画「繕い裁つ人」を上映。当日、ちえりあロビーでは、札幌友の会やファイバーリサイクルネットワークと共催で、古着・古布のリメイク作品展示会を開催した。

## ▼出前講座

ごみの分別・生ごみ減量・包丁研ぎ実践から、希望の内容を選択してもらい実施した。申込み団体の内訳は、保育園・小学校・中学校・福祉委員会・町内会・NPO・市民団体・市民サークル・市民クラブなど、幅広いジャンルでごみ減量を啓発することができた。

## ▽ 再利用品の展示・提供に関する業務

▼毎月1回リサイクル家具・自転車の抽選販売と抽選に申込みのなかった家具の即売事業を行った。展示期間に、家具の傷や臭いなどを、わかりやすく掲示したことで、引取後の家具のクレーム防止に繋がった。

展示数:675点、提供数:566点、申込者数4,616名、販売金額:4,252,700円

前年度(展示数:688点、提供数:594点、申込者数5,006名、販売金額:4,187,500円)

	<p>▼リユースコーナーで不用品活用の促進を行った。  提供者数3,697人・新規預り61,727点・提供数60,046点  月に数千点と、多種多様なリユース品の持込みに対応するために、随時、受け入れ基準などを更新しながら対応した。また、530(ゴミゼロ)基金の募金箱を設置し、リサイクルプラザのごみ減量に関わる市民還元事業などに活用した。  (28年度寄付金総額266,112円)</p> <p>▽ 車両の管理運用に関する業務</p> <p>▼「リユース食器」の貸出を6回実施した。  昨年度のアラエール号事業廃止で利用が減少することが予想されたため、広報活動を積極的に行った。広報さっぽろ・プラザ事業ニュース・ごみニュケーション・ホームページでPRし、新しいチラシも作成して、過去使用団体や関係各所に発送した。  また、新たなサービスとして、自力で食器の運搬が困難な団体向けに、搬入出代行サービスを追加して、新規で1団体が利用した。</p>						
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼リサイクルプラザが実施した広報媒体によって、施設を利用された市民の割合。(利用者アンケート400名より)  上期44.5% 下期51.9%</p> <p>▼HPはタイムリーな情報提供を心掛け、年間112回の更新をした。(閲覧数累計 21,188)</p> <p>▼月間の事業内容を掲載している「プラザ事業ニュース」を毎月25日に発行(計12回16,300部)</p> <p>▼ごみ減量情報誌「ごみニュケーション」を年2回16,000部発行し、9月は33号「自分でごみを搬入してみました」、3月は32号「使い終わった油のエコな処分の仕方」を特集した。札幌市の施策に合わせ、ごみ減量のための市民の暮らしに役立つ内容を紹介した。(189カ所の町内会や公共施設等に発送)</p> <p>▼「ちえりあ情報紙」「道新ウォーク」「ふりっぱー」など他団体の情報紙・HPへの情報提供を行った。また、テレビやラジオ出演・新聞で、幅広く情報を発信した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼年度末に全事業のマニュアルを29年度用に改定した。  (総務・再利用品展示提供業務・広報業務・学習機会の提供業務・情報収集及び提供業務・意識啓発業務・市民ボランティア業務・リユース食器業務・相談業務・受付カウンター業務・販売管理業務・クレーム対応・事故等の緊急対応)</p>	計画どおり実施できた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>要求水準を満たしており、適切に付随業務が実施された。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				



2 自主事業その他		A	B	C	D
<p>▽ 自主事業</p> <p>▼自主事業計画に基づき実施できた。事業目的にあったリサイクル・リフォーム・エコに関する商品を選定し市民に提供した。自主事業で生じた利益は市民還元事業に活用した。</p> <p>▼学生ボランティアと協力を得ながら、リサイクルプラザでフリーマーケットを開催した。市民から寄付して頂いたリユース品を活用することで、リユースの推進を行った。収益金の内、100,000円を熊本震災義援金に寄付した。 売上金261,395円、来場者713人。</p> <p>▼ファイバーリサイクルネットワークと協力して、年に2回(9日間)資源回収拠点となり、年間200.8kgの古繊維品を回収した。通常回収しているウエスに加え、ジャージ・着物・背広・毛布などを回収することで利用者の増加に繋がった。</p> <p>▼エクステンジ(洋服の交換会) 毎月、市民交流広場期間中に実施している。意識調査アンケートを実施して、常に市民のニーズに応えられるように工夫した。 【平成28年度利用状況】 持ち込み人数:持込人数1,251人、2,837点 持ち帰り人数1,688人、2,806点</p> <p>▼北海道容器包装の簡素化を進める連絡会の事業に事務局として参加することで、市民に容器包装リサイクル法の仕組みや、メーカーの簡素化の取り組みについて啓発することができた。</p> <p>▼札幌市・ちえりあ主催事業 ちえりあフェスティバル2016で、余り毛糸でブローチ作りの体験コーナー(41名参加)とごみのクイズコーナー(138名参加)を行った。(期間中来館者1,050人)</p> <p>▼(一社)札幌交通事業公社より、公共交通機関での期限切れ忘れ物傘を100本譲り受け、市民にリユースした。</p> <p>▼楽しみながらごみの減量の意識を持ってもらうことを目的に、札幌市民からエコ川柳を通年で募集して、定期的に審査会を行い、大賞作品を決定。作品は情報誌や展示会で紹介し、受賞者には記念品を贈呈した。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼事業に関係する企業は、可能な限り札幌市内の事業者を選定した。</p> <p>▼自主事業の販売品は、福祉施設で製造している品を仕入れることで配慮した。</p>	<p>計画どおりに実施できた。特に自主的な取り組みを積極的に実施した。</p>	<p>計画に基づき、設置目的に合致した効果的な事業が展開できていた。</p>			

## 3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		計画どおりに実施できた。接遇・満足度・理解度ともに高水準の結果だった。	A	B	C	D
実施方法	<p>▼リサイクルプラザ利用者アンケートとして、リサイクルプラザ宮の沢の施設来館者に上半期・下半期の2回、用紙配布により実施した。</p> <p>▼各教室・講演会等の参加者にアンケートを実施した。結果を分析して、年度内に活かす部分は活かし、以降に実施する事業に役立てた。</p>		いずれの項目も要求水準を満たしており、適切である。			
結果概要	<p>▼施設利用者アンケート(400名実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用: 新規利用者36.2%、リピーター63.8%</li> <li>・接遇: とても良い67.15%、良い29.35%、普通3.5%、あまり良くない0%、悪い0%</li> <li>・満足度: とても満足した40.9%、ほぼ満足した47.85%、普通11%、少し不満0.25%、不満0%</li> </ul> <p>▼事業アンケート(1,347名実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用: 新規利用者72.8%、リピーター27.2%</li> <li>・満足度: とても満足72%、満足22.2%、普通4.7%、少し不満0.6%、不満0.5%</li> <li>・理解度: とてもよく理解できた66%、理解できた30%、理解できない部分があった4%</li> </ul>					
利用者からの意見・要望とその対応	<p>▼市民は、イベントやリユースコーナー・家具の抽選などすぐに参加できるものや、包丁研ぎなど自宅で継続して実践できるような内容を特に好む傾向があった。</p> <p>▼毎回定員より申込みが多い教室は、年間の開催回数を多く実施した。</p>					

## 4 収支状況

▽ 収支 (千円)				計画どおりに実施できた。	A	B	C	D
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)		ほぼ計画通りに実施されており、適切である。			
収入	22,712	22,917	205					
指定管理業務収入	21,736	21,737	1					
指定管理費	19,716	19,716	0					
利用料金	170	171	1					
<sup>その他</sup> 基本財源運用資金	1,850	1,850	0					
自主事業収入	976	1,180	204					
支出	22,712	22,903	191					
指定管理業務支出	21,736	21,723	▲13					
自主事業支出	976	1,180	204					
収入-支出	0	14	14					
利益還元	0	0	0					
法人税等	0	44	44					
純利益	0	▲30	▲30					
▽ 説明								
▼指定管理業務収入は、概ね計画どおりであった。								
▼自主事業収入は、リユースコーナーに市民から提供される物の質の向上に伴い、基金収入が増加したことにより、計画より203千円増加した。								
▼支出は概ね計画どおりに実行できた。自主事業支出では、利益を次年度事業に繰り入れたことにより収入と同額となっている。								

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼当団体の財務状況等は、借入金なしで運営している。また、事業ごとに収支計算書を作成し財務状況を管理しており、安定経営能力は選定時と同等である。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適 不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>年間来館者人数が増加(平成21年度40,184名→平成25年度45,599名→平成28年度58,600名)していることから、リサイクルプラザの取り組みが市民から認められてきていることがわかる。委託事業の内容を、市民が利用しやすいように常に工夫するだけではなく、自主事業も積極的に行っている成果と考えられる。自主事業の中でも2013年から毎年行っているフリーマーケットでは、2016年に発生した熊本地震の被災地に、フリーマーケット収益金の一部を被災地に寄付するなど、自主事業で得た収益を被災地支援に活用することが定着してきている。</p> <p>モニタリング調査を行うことで、ニーズに合わせて事業全般を進めている。28年度では、特に「エコトーク映画会」が10年目にして初めて動員100%を超えた。その他、エコ教室やリユース食器事業なので、新たなサービスにも取り組んでいる。</p> <p>毎年、職員が個々にスキルアップ研修を行っており、事業遂行能力が向上している。また、毎年度最低賃金が上昇していることから、事業費の節減に取り組み、職員給与のベースアップを実行した。これは今後も取り組んでいく。</p>	<p>29年度は指定管理の最終年度のため、市民の意見や経験則を基に、既存事業の見直しを徹底して、第4期指定管理へと繋がるように取り組んでいく。</p> <p>大型ごみを修理修繕したリサイクル家具が、新年度から洗い出しと簡易修理のリユース家具へ移行するため、傾向を分析し、事業の内容を30年度以降の事業に活かせるようにしていく。</p> <p>ボランティアスタッフの高齢化が進んでおり、引退するスタッフの増加が予想されるため、新人スタッフのスキルアップを進めていく。</p> <p>「幅広い世代に利用してもらえる施設にしてい」「職員のスキルアップとベースアップ」「指定管理者オリジナルの自主事業を積極的に行う」ことなど、基本的な目標は継続して行っていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>統括管理、労働・雇用環境、施設の維持管理については、所管局の要求水準を達成し、適切であると評価できる。</p> <p>各種事業については、利用促進・満足度向上のための施策がとられており、それがアンケートの高い満足度につながっているとみることができ評価できる。</p> <p>前年度の改善事項でもある「まだ来館していない市民へのPR」については、年間来館者数が年々増加していること、施設利用者アンケートでも新規利用者割合が約30%→36%と増加していること、事業アンケートでも新規利用割合が約50%→70%と増加していることなどから、施設の周知が広く行われた結果であり、一定の効果が得られたものとみることができ評価できる。</p> <p>ただ、「10代・20代の利用者数増」という点については、利用者アンケートの回答割合を見る限り、増加傾向がみえないためさらなる改善の余地があるといえる。</p>	<p>まだ来館したことのない市民に対して施設の利用を呼びかけ、ごみ減量・資源化の推進に向けた取り組みを理解してもらうこと。</p> <p>10代・20代向けへの来館促進、またごみ減量・資源化の促進への関心を高めるための取り組みを行うこと。</p>